公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　すまいるみっけ			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日	～	令和 8 年 2 月 13 日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20名	（回答者数）	18名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日	～	令和 8 年 2 月 13 日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラム（療育内容）、行事、イベントの充実 ・集団療育＆個別療育の工夫 ・オリンピック選手との交流 ・季節ごとの行事 ・ご家族様に参加していただく行事　　等	個々の発達段階や年齢、特性に応じた内容を意識し、楽しい時間を過ごすだけでなく、様々な経験を積み重ねてもらうことにより、自信につながることも目的としている。また、毎月のおたよりに設定活動の「ねらい（👐💪❤）」を記載することにより、わかりやすくお伝えできている。	みんなで過ごすなかでも、ひとりひとりのニーズに合わせた声掛けやスキルアップを図る。また、今後も引き続き職員で発案し、実施していく。
2	全職員で支援計画や情報を共有し、確認している。ご家族の悩みや関わり方についても共有し、解決につながるよう支援している。	ご家族様や関係機関の方々と連携を図りながら、相談や悩みをくみとりながら困ったこと等を全職員で打ち合わせの時間をも設け共有している。また、担当制にしていないこともあり、療育に偏りがない。	今後も引き続き実施していく。
3	肢体不自由のお子さんが利用しており、お子様同士様々な関わりができる。	障がい問わず個々の特性を理解し、お子さん同士の関わるなかで意欲を高めている。また、衝動性の強いお子さんは、優しい力や優しい関わりがわかりやすい。	今後も引き続き実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中高生のその後の生活や就労に関することについて	生活介護、グループホーム、就労施設の見学や、研修会に参加しています。実際に必要なスキルや、自立に向けてのスキル等を学んでいます。	引き続き情報収集に努め、様々な経験を積み重ねられるよう、体験等を考えています。
2			
3			